

「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」を提出

令和2年第5回定例会を9月4日（金）から25日（金）までの22日間の日程で行い、市長より報告5件、諮問1件、議案6件、認定7件が上程され、決算特別委員会で審査する認定6件以外について、適任・承認・可決・認定し、議員提出議案3件についても、原案のとおり可決しました。

本定例会に提案された議案等の審議結果については、一覽を次ページに掲載しています。

なお、本定例会において、適任とされた人事案件は、次のとおりです。

○人権擁護委員

沢田 正氏（再任）

議会へ提出された請願・陳情

令和2年度第5回定

議会から関係機関への意見書

9月25日の本会議において、議員より提出された意見書2件について、原案可決し関係機関へ提出しています。

◆新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

《提出理由》新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、我が国は戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度のみならず来年度において

も地方税や地方交付税など一般財源の激減が避けがたい状況にあることから、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、地方税や地方交付税などの一般財源総額を確保することなどを求め意見書を提出するもの。

◆免税軽油制度の継続を求める意見書

《提出理由》本市の冬季観光産業における重要な柱であるスキー場産業の発展に貢献してきた軽油引取税の課税免除措置の特例措置が令和3年3月末日で廃止されるが、本制度が廃止されることにより、スキー場の経営維持が困難になるとともに、スキーやスノーボード等を中心とする冬季における観光産業のみな

らず、地域経済にも計り知れない影響をあたえることから意見書を提出するもの。

決算特別委員会を設置し決算を審査

9月25日の本会議において、当局より追加提案された令和元年度一般会計歳入歳出決算等の認定案件6件について、決算特別委員会を設置し議会閉会中の10月12日、13日に審査を行いました。

審査内容については次号（2月1日号）でお知らせします。

◆決算特別委員（8名）

委員長 金澤 大輔
副委員長 成田 哲男
委員 浅石 昌敏
田口 裕
中山 一男
児玉 悦朗
栗山 尚記
戸田 芳孝

『ぎかいだより』に関する意見をお寄せください！

市議会では、身近で市民の皆さまが手に取りやすい広報紙を目指しています。

読者の皆さまの率直な感想やご意見をお寄せください。

こちらへお寄せください

✉（メール） gikai@city.kazuno.lg.jp

☎（FAX） 0186-30-1133

